

第183回 島原市民文化講座
火山との共生推進協議会講演会



雲仙・普賢岳と眉山の噴火史

— 鍵テフラとしてのアカホヤ火山灰 —

島原半島ジオパークの中心的見所、普賢岳と眉山の噴火の歴史をわかりやすくお話しします。

普賢岳と眉山の噴火の歴史を解き明かす上では、約7,300年前に鹿児島から飛んできたアカホヤ火山灰が重要な鍵となります。

毎日見ている雲仙の山の成立ち、また雲仙の火砕流とは比較にならないほど巨大な鬼界カルデラの火砕流噴火についてもお話しします。



日 時 平成21年3月20日(金) 午後7時

場 所 森岳公民館 2階 大ホール

入場料 無 料

講 師 小林 哲夫 先生(鹿児島大学理学部教授)

主 催 火山との共生推進協議会 (島原市生活安全課)

共 催 島原市民文化講座・島原市教育委員会

お問い合わせ

島原市ジオパーク推進室

島原市平成町1-1 雲仙岳災害記念館内

電話65-5540